



【学校教育目標】自ら考え、判断し、人と共により良く生きようとする心豊かな子供の育成

## 「いのち」について

教育週間のスタートにあたり、火曜日の朝一番に全校集会を行いました。そこでは、まず初めに、少し難しい話ではありましたが、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」がなぜ始まったのか。どのような願いで行っているのかを話しました。そのあと、子供たちに「いのち」について以下のような話をしました(部分的に抜粋したものを裏面に載せています。)

少し長い時間だったので、低学年はきついのではないかと心配しながら話しましたが、どの子もしっかりと落ち着いて話を聞くことができました。

「自分で自分のいのちを守る」ことができることが大前提ですが、そのほかに大切なこととして、

### ①「いのち」に感謝する

「いのちがあること」「生きていること」「生かされていること」は決して当たり前前のことではなく、「ありがたい」こと。感謝の心をもって生活すること。

### ②大切な「いのち」を使って、一生懸命に生きていく

「見る」「聞く」「話す」「動く」などのすべてが、「いのち」があるからこそできること。その一つ一つを、毎日一生懸命に生きることが「いのち」を大切にしているということ。

### ③「言葉」を大切にす

自分の思いを伝える言葉には、「温かさ」だけでなく、時として「冷たさ」も伝わる。

「言葉」は自分の思いと違って伝わることもあるので、人を傷つけることがないようにしっかりと考えて使うということ。

話の途中には、105歳で亡くなるまで生涯現役医師として活動した日野原重明氏の「いのちの使い方」から言葉を引用し、「いのちは時間である。」「助けを求めている人のために自分の時間を使うことだ。」と伝えました。

小ヶ倉小学校の子供たちが、自らの命と周りの人の命、どちらもを輝かせ、充実した毎日を過ごすことができるよう願うばかりです。

この期間のみならず、御家庭でも「命の大切さ」について話す時間があればと思います。

## スマホの使い方



最近、小中学校で SNS によるトラブル（特に LINE アプリ）の話を聞くことがあります。本校でも、少なからず同じような話が入っています。我が子にスマホを持たせるのであれば、利便性だけでなく、デメリットや危険性についても教えておかなければなりません。今後はもっと親子で、SNS の使い方を話し合っただけであればと感じています。巻き込まれてからでは遅いのです。

ところで、「デジタルタトゥー」という言葉は御存知ですか。「デジタルタトゥー」とは、未来の自分に不利益を及ぼすインターネット上の刻印のことです。文字や画像、動画などが、検索エンジンを含むインターネット全般に公開され、将来の自分にとって不利益な情報が残り続けてしまうこととなります。

情報をアップされたときは問題がなくても、あとあとになって問題になることに気付いていくこともあり、「消したい!!」と思って、大元の情報を1つ削除できたとしても、ウェブサイトやキャッシュなどに履歴が残っていて、完全に削除することは非常に困難です。

一度問題に上がれば、さまざまな思惑を持った第三者がそれを探し当てて、コピー&拡散につながるため、「消すと増える」とも言われています。

いたずら動画が Instagram や TikTok、YouTube 等で拡散され、処罰を受けたニュースもあります。動画を UP した者の情報は瞬く間に拡散され、本名、住所、学校名も特定されます。様々な思惑を持った第三者には簡単なことのようにです。

また、ストーカー行為を目的に、相手が UP した動画や画像の GPS 情報から行動パターンを読み、待ち伏せされることもあります。自分の行動を安易にネット上に残さない方が賢明です。

SNS の影響はこれからも大きくなり続けていき、それに伴ってデジタルタトゥーの問題が拡大していくことは間違いありません。なぜなら世間の風潮や社会情勢の変化によって、『昔はよかったけど、今は NG』となっていることが多いのです。どの情報なら出して OK でどの情報は NG なのかをよく考えてプライベートでも発信していく必要があるでしょう。



裏面あり

今日の私の話のテーマは「いのち」です。今日は「命」ということについて話します。とても大事な話なので、しっかりと考えながら聞いてください。

**基本は「自分の命は、自分で守る」ということです。**みなさんには、命がありますね。その命は大切なものですか。どれくらい大切に思っていますか。何か他のものと比べることができますか。比べることができないくらい大切に思っているでしょう。

それでは、そんなにも大切な命があることに、みなさんは感謝したことがありますか。たぶん、ほとんどの人が、あらためて感謝したことはないと思います。みなさんだけでなく、私も自分に命があることにあらためて感謝することはめったにありません。でも、そんなに大切な命をもっていることにどうして感謝しないのでしょうか。それは、命があることが当たり前のことだと思っているからなのです。人は、特別なことには感謝しますが、当たり前のことにはあまり感謝しないのです。普通に毎日生きているので、命があることを特別考えないので、感謝の気持ちもわいてこないのです。

しかし、どんなものでも、それを失ったり、失ったときのことを考えてみたりすると、それがあつということが当たり前のことではないということに気がきます。どんな人の命にも限りがあります。命が尽きてしまう日が必ずやってきます。だからこそ、限りある自分の命は大切なのです。そして、あなたの周りの人たちの命も大切なのです。みなさんが動いたり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりできるのも、話したり、走ったり、食べたりできるのも、生きているからこそ、命があるからこそできるのです。今命があること、生きることができていることは決して当たり前ではないのです。だから、**今命があること、生きることができていることに感謝しなければならない**と思います。

ところで、みなさんは、毎日学校でいろんなことを学んでいます。学ぶことの本当の目的は、いい成績を取るためだけにやっているのではありません。よりよく自分の命を使えるよう私たちは学ぶのです。よく「人に迷惑をかけないように生きなさい」と言いますが、それは難しいです。私も沢山のの人に迷惑をかけたり助けてもらったりしながら生きています。「人に迷惑をかけない生き方」ではなく、「**人の役に立つ生き方**」をしてほしいと思っています。それが私たちの「命に与えられた役割」です。

8年前、105歳で亡くなられた、生涯現役の医者として活躍された日野原重明先生の「いのちの使い方」ということばがあります。『いのちは時間である。いのちの時間は長短が問題なのではなく、どうやって深め、質を高められるかが問われる。人間にとって、生きている実感を味わえる、いちばん充実した過ごし方は、助けを求めている人のために自分の時間を使うことだと思うのです。だれかの役に立つということは、自分という存在そのものが活かされているということです。』**「助けを求めている人の為に自分の時間を使う」「誰かの役に立つ」ということはすごく難しいことですが、とっても大切なこと**なのです。

そこで、みなさんに1つお願いがあります。それは、「**言葉を大切に**する」ということです。「言葉を大切にする」ってどういうことかという、人は自分の思いを言葉として伝えます。その言葉から温かさを感じたり、逆に、冷たさを感じたりと、その言葉を聞き取るのは相手です。つまり、自分の思いとは違って伝わってしまうこともあるのです。ケガなど身体にできた傷は、薬や自分の力で治すことができますが、言葉や行動・態度によってつけられてしまった心の傷は、なかなか治りません。

残念ながら、この小ヶ倉小学校でも、「からかわれた」「無視された」「たたかれた」など、命や言葉を大切にしていない言葉や行動があることを聞きます。言っている人・やっている人は感じていないようですが、言われている人・やられている人は、心が折れかかっています。また、「死ぬ」「殺す」という言葉が普通の言葉のように使われてしまっていることを、私は悲しく思っています。冗談でも使って欲しくない言葉です。ここにいる175人が、「学校楽しいな！よし、今日もがんばろう！」という思いで学校生活を送ることができるよう、もう一度自分の行動や言葉を振り返ってください。周りの人の「体」と「心」を傷つけようとする人は、人の命を大切にしていないということです。

今日は、今、**自分が生きていることを実感して感謝する**。そして、**これからも一生懸命に生きていくことを心に誓う**、さらに、**どう生きていくのかを考える日**だと思えます。皆さんも、大切な命について、自分で・友達と・家族と一生懸命考えてみてください。とても大切な自分の「いのち」。そして、奇跡のようにめぐり会った周りの人たちの「いのち」。お互いの行動や言葉を大切に、そのどちらも大事にする小ヶ倉小学校の子供でいてください。

もちろん今日だけではなく、毎日しっかりと考えて、1日1日を大切に生きてほしいと願っています。

最後に、ある人が立てた「5つの誓い」を紹介します。

口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう  
目は人のよいところを見るために使おう  
耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう  
手足は人を助けるために使おう  
心は人の痛みがわかるために使おう

出典「命の授業 腰塚勇人オフィシャルサイト」

みんながこんなことができる小ヶ倉小学校になると素晴らしい毎日が過ごせると思っています。